

メールサーバー設定 利用者編

～通知メール、ウェブメールを利用しよう～

2023年2月1日
カスタマーサクセス部

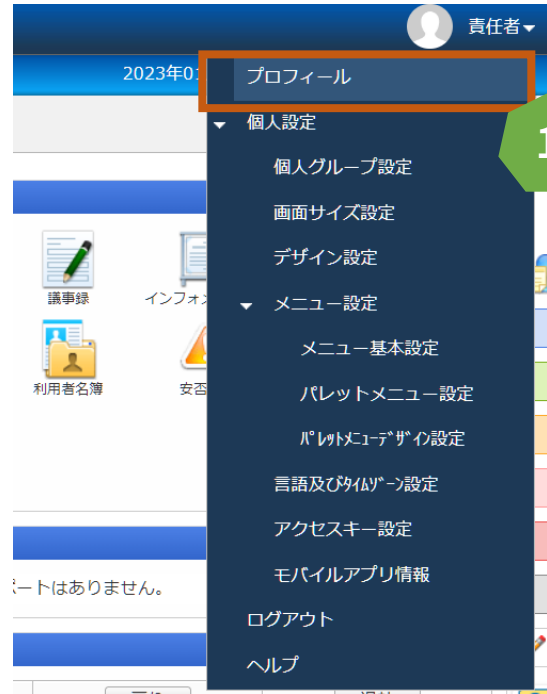
【 アジェンダ 】

(1) メール通知先設定

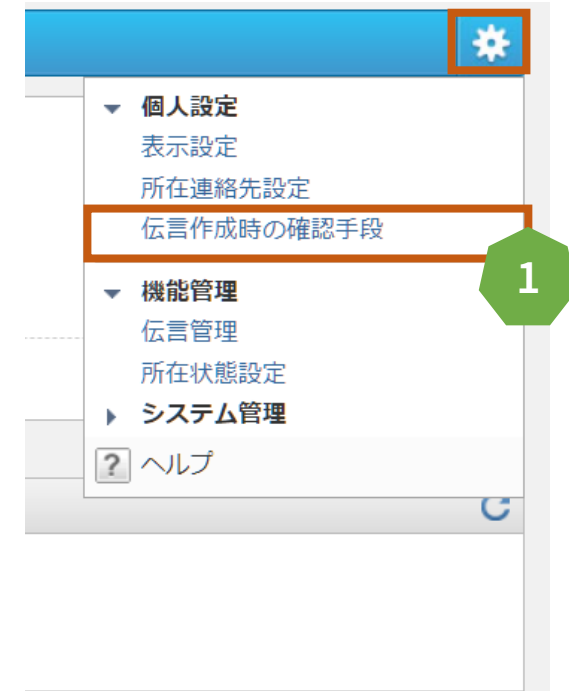
(2) ウェブメール (POP) アカウント設定

■メール通知先設定

【 通知先設定（個人） 】



例) 自身への伝言と同時に通知メールを受け取る



■ウェブメール (POP) アカウント設定

【 大前提 】

desknet's NEOはメールサーバーの機能を有していないため、導入済みのメールサーバーのアカウント情報が必要になります。

sample@neo.co.jp

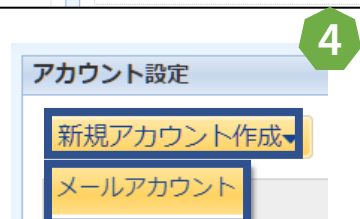
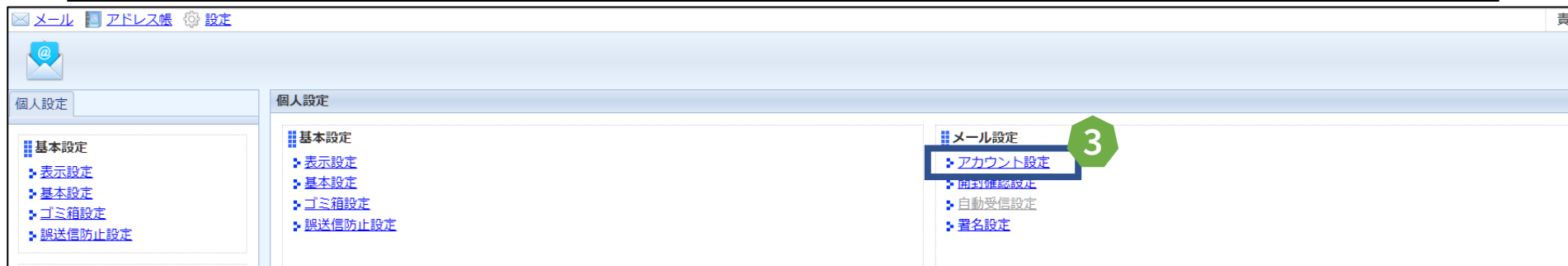
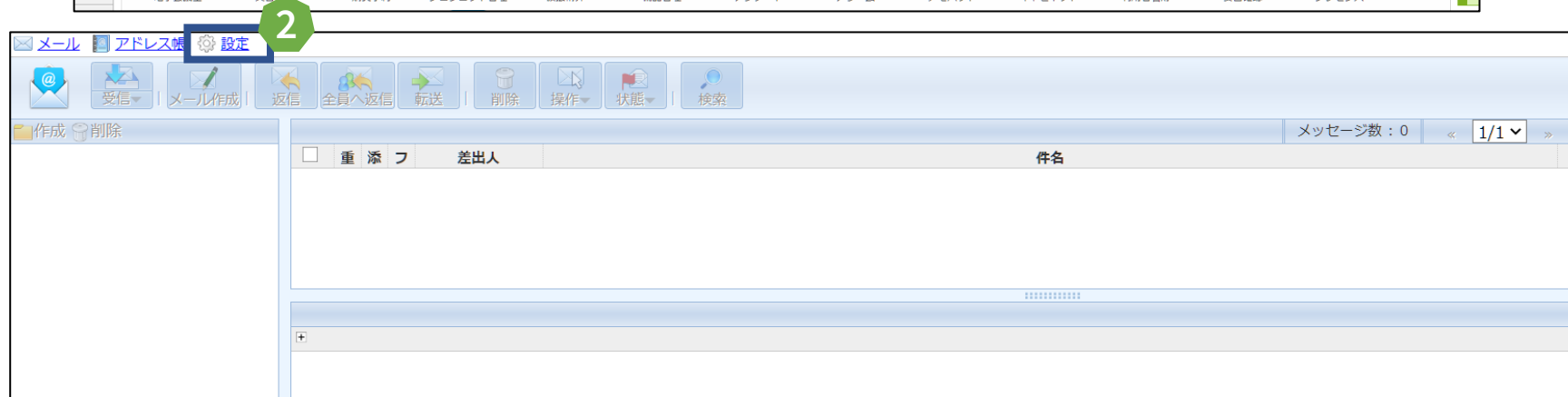
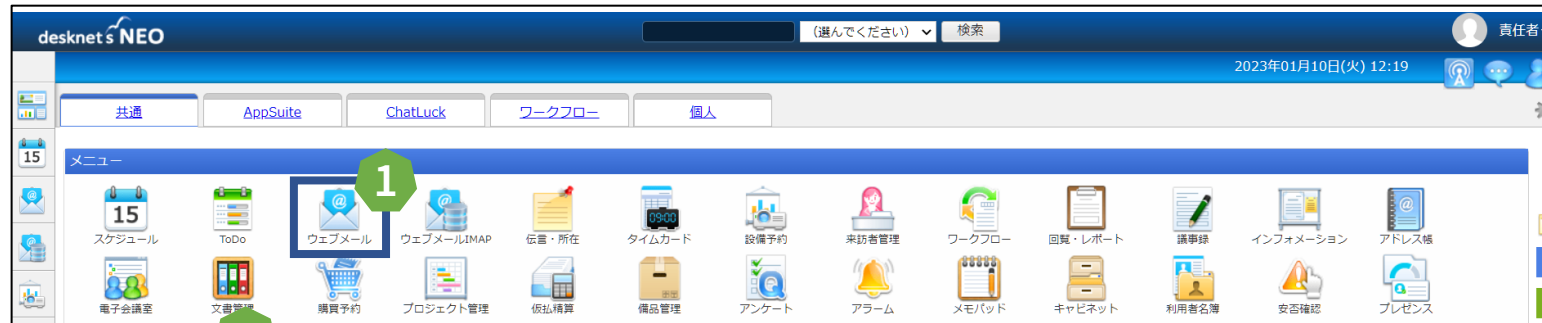
というメールアドレスを作成する際に、

ユーザーID (アカウント) 及びパスワードを入力されています。

ほとんどの場合、ユーザーIDは、
メールアドレスの@より前

若しくは
メールアドレスすべて

【メールアカウント設定】



< 次へ >

< 続き >

アカウントの変更

基本設定

アカウント名(*)	責任者
メール受信	行う
表示名	責任者
メールアドレス(*)	sample@example.cybermail.jp
受信状態	
受信時のログ	<input checked="" type="radio"/> 出力しない <input type="radio"/> 出力する ※ 「出力する」を選択した場合、メールを受信する際のメールサーバーとの通信ログを
送信時のログ	<input checked="" type="radio"/> 出力しない <input type="radio"/> 出力する ※ 「出力する」を選択した場合、メールを送信する際のメールサーバーとの通信ログを出力します。

受信メールサーバー(POP3)

メールサーバー情報

管理者設定の[メールサーバー設定]で設定された受信メールサーバー(POP3)を使用する。
サーバー名: example.cybermail.jp
ポート番号: 995
通信の保護: SSL/TLS

ウェブメールのメールサーバー設定で設定された受信メールサーバー(POP3)を使用する。
サーバー名: example.cybermail.jp
ポート番号: 995
通信の保護: SSL/TLS

個別に設定する。
サーバー名:
ポート番号: 110 ※ 通常は110で設定します。
通信の保護: なし

ユーザーID: sample@example.cybermail.jp

パスワード:

認証方式

標準

標準(APOP)

XOAUTH2
OAuth認可サーバー: なし

メールアドレスを入力

管理者にて設定済みのメールサーバを指定するだけ

アカウントの変更

サーバータイムアウト(秒) 60

その他設定

受信メールをサーバーに残す。サーバーに残す日数:

※ 受信したメールの「受信日時」から入力した日数を経過したメールをサーバーから削除します。
※ 日数が未入力の場合は無期限にサーバーに残ります。

送信メールサーバー(SMTP)

メールサーバー情報

管理者設定の[メールサーバー設定]で設定された送信メールサーバー(SMTP)を使用する。
サーバー名: example.cybermail.jp
ポート番号: 465
通信の保護: SSL/TLS
送信時の認証: SMTP認証

ウェブメールのメールサーバー設定で設定された送信メールサーバー(SMTP)を使用する。
サーバー名: example.cybermail.jp
ポート番号: 465
通信の保護: SSL/TLS
送信時の認証: SMTP認証

個別に設定する。
サーバー名:
ポート番号: 25 ※ 通常は25で設定します。
通信の保護: なし

送信時の認証: 認証しない

POP before SMTP
※ この値を選択した場合、メール送信する際に受信メールサーバーの認証を行います。

SMTP認証
認証方式: CRAM-MD5
※ この値を選択した場合、メール送信する際にSMTP認証を行います。

XOAUTH2認証
OAuth認可サーバー: なし
※ この値を選択した場合、メール送信する際にXOAUTH2認証を行います。

送信時の認証情報

ユーザーID:
パスワード:

OAuth認可サーバー認証

※ 「送信時の認証」に「SMTP認証」を選択している場合、「ユーザーID」と「パスワード」を設定してください。省略した場合は、受信メールサーバーのユーザーIDと
※ 「送信時の認証」に「XOAUTH2認証」を選択している場合、「ユーザーID」を設定し、「OAuth認可サーバー」で選択したサーバーに対して[OAuth認可サーバー認

メールサーバーへメールを残したい場合は、残す設定へ

例) 他メーラーでも同じメールを受信したい

MS365は基本認証のサポートが終了しており、
先進認証の設定が必要です。
(上記だとOAuth認可サーバーの設定が必要です)
OAuth認可サーバーの設定:
<https://www.desknets.com/neo/download/doc/oauth/microsoft365.html>

ご視聴ありがとうございました